

# 令和2年度 市民と市長の対話集会

## 市長と語ろう！ほっとミーティング

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年（2020年）11月24日（火）  
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所本館619会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 連合自治会長7人
- 4 テーマ ウィズコロナ時代の地域活動とは  
～持続可能な地域運営について～



ほっとミーティングの様子

## 5 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的として取り組んでいます。市長に就任した1期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。その後は各地域に直接伺い、地域の魅力について対話させていただいて、市民生活の向上やまちづくりの魅力アップのヒントをいただきました。

さて、新型コロナウイルス感染症は、市民生活全体に大きな影響を与え、皆さんも大変御不便をされている中で、市政に御協力いただいていることに対し改めて感謝申し上げます。

これまでの平塚の発生状況ですが、大きなクラスターも発生せず重症者数も多くない状況です。平塚市民病院もひっばくした状況ではありません。これは市民の皆さん、事業所・施設の皆さんの安全対策のおかげであると考えています。

コロナ禍における地域活動については、今春の平自連役員との面談時にこのままでは地域のつながりが失われてしまう状況とお聞きしまして、本市としましても緊急・総合対策の中で支援を行いました。本日は連合自治会長から地域の現状や課題、今後のあり方について御意見を聞かせていただきたいと思っています。本日はぜひ率直な御意見をよろしくお願いします。

## 6 主なミーティングの内容

### 【司会】

まず初めにコロナ禍における各地域の現状などをお聞かせください。

### 【参加者】

行事を徐々に再開することを検討しています。課題はごみ分別がルールになっていることです。パトロールなど行っています。

### 【参加者】

連合会内で新しい役員との顔合わせができない時期が長かったですが、徐々に会議も開催しています。ただし会場の人数制限からまだ全員で集まれません。防災訓練や交通安全教室など重要度の高い行事から開催しています。交通安全教室は交付金を活用して、バスを借り上げて会場まで送迎しました。

**【参加者】**

当地域も行事、会合は中止又は書面開催が多いです。防災訓練は昨年ので台風の教訓を踏まえて、避難所開設訓練を実施しました。新春の集いは中止、公民館まつりは開催の方向で進めています。

**【参加者】**

先日参加した市民大学で講師から「自治会の役割は市からの与えられた役割ではなく、地域の力量に応じて自治会自らが選択する時代」と言われ、私としては目から鱗が落ちる思いでした。当地域でも行事等は選択して役員の負担軽減ができないかと思っています。農家が多い地域のため高齢化が進み荒廃化が心配です。

**【参加者】**

団地の各棟会長会議を分散開催しています。発表会は開催できなかったため、70歳以上へお弁当を配布しました。当団地は建て替え計画があるため、新しい入居者が入ってきません。役員のなり手がますますいない状況です。

**【参加者】**

連合自治会の定例会は継続して開催していますが、地域のつながりを生む行事を開催できていません。地域住民を集めることは感染リスクを考えれば難しいと理解していますが、これからどのように地域のつながりを保っていくかが課題だと考えています。そのため役員間でのつながりだけは保つよう防災倉庫の整理・清掃などを企画しました。

**【参加者】**

当地域でも行事の多くが中止になりましたが、各活動団体にコロナを理由として何でも初めから中止という判断が気になっています。自治会では安易に中止にせず、ぎりぎりまで開催に向けた検討を進めました。防災訓練も反対意見もありましたが絶対に開催すべきと説得してなんとか開催することができました。組長会議も分散開催しています。また、ごみ問題では不法投棄対策で防犯カメラを設置しました。

**【司会】**

定例会や行事の活動方針については、地域それぞれの実情に応じたお考えがあると感じました。

**【参加者】**

できれば市内統一の指針があるとよいと思います。最終的に各地域が指針を踏まえて判断することはよいと思いますが、各会長個人が悩む状況は改善が必要だと思います。平自連でも課題を共有する仕組みを作っていきたいです。

**【市長】**

感染拡大を防ぐため、国・県から示される会合や行事の開催に当たっての

基本的ルールについては、皆さんに的確にお伝えして守っていただきたいと考えています。その上で平塚の特色である皆さんの地域のつながりを保ち、衰退させないことが大きな課題と捉えています。その対策を市としても共に考え支援したいと考えています。平自連には、市の方針の市民周知についても協力をいただいていることは大変ありがたく感じています。コロナを乗り越えるために必要な対策・制限で御不便をお掛けすることもあるかと思いますが、御協力をお願いしたいと考えています。

**【参加者】**

公民館まつりも当初は飲食禁止であれば中止しようという意見が多数でしたが、昨年度から2年連続で中止となれば、次年度以降の存続も難しくなるという危機感もありました。中央公民館から開催を前提とした通知があったおかげで、今では工夫をしながら開催しようという流れになりました。

**【参加者】**

新型コロナウイルスは2m以上の距離を保てば恐れる必要はないということを科学的な根拠をもとに正しく周知することが、地域活動の再開をするために必要と感じています。

**【参加者】**

行事中止のお知らせを作る際には、来年度の開催を楽しみにしてもらえるように気を付けました。当地域も公民館まつり開催に向け準備しています。ただし感染状況が悪化した場合には中止することを実行委員会で話し合っています。その場合、近隣地区の開催状況は気になります。市内統一の開催基準が必要になるかもしれません。

**【参加者】**

自治会としてやむを得ず中止にしたことを、隣の地区は開催したのに役員が楽をするために中止にしたと住民に誤解されないか心配です。

**【司会】**

地域の皆さんに自治会での検討内容を正しく周知することはとても重要だと感じます。周知方法で工夫している取り組みなどありますか。

**【市長】**

情報発信のお話がありましたので、私から一言「ちいき情報局」のお礼をさせていただきます。小・中学校の臨時休業時に各学校からのお知らせを掲載していただいております。コロナを機に情報発信を含めて、デジタル化を進める必要性が増しています。一つの例として、本市では今年度のプレミアム付き商品券の発行に当たり、これまでの紙ではなくスマートフォンを活用した方式を採用しました。これにはお叱りの御意見もいただきましたが、これからの時代にはデジタル化は避けて通れないと考え思い切っ

実施しました。次の時代に向けた施策であったことは御理解いただきたいと思いますが、皆さんへもっと丁寧に御説明をすべきであったと考えています。

話を元に戻しますと、「ちいき情報局」は地域をつなぐとても重要な手段です。担当部にはより一層の活性化や充実を指示しています。また地域活動再開円滑化交付金も活用いただきながら、ぜひデジタル化を推進していただければありがたいと考えています。

**【司会】**

デジタル化については、前回のほっとミーティングでは役員会をオンラインで開催する案もあるようでしたが、皆さんの自治会では活用事例などありますか。

**【参加者】**

当地域でもようやく「ちいき情報局」を開設しました。

**【参加者】**

当地域も「ちいき情報局」を開設していますが閲覧数が少ない状況です。回覧板の方がよいとの意見も多いです。

**【参加者】**

当自治会役員でも半数はデジタル化への順応は難しいと思います。

**【参加者】**

やはり紙の方が便利という意見が多いです。

**【司会】**

イベント開催に当たり気を付けている点、工夫している点などありますか。また制限が多い中で参加団体が集まらず困っているという声を聞くこともありますが、困っている点などありますか。

**【参加者】**

イベントを開催しようと提案しても、必ず「何かあったら責任がとれるのか」との意見が出ます。自治会が行う安全対策は100%とは言い切れない部分もありますので、「もし感染者を出してしまったら、死者を出してしまったら」との思いは会長として常に持っています。

**【参加者】**

公民館までの距離が遠いのでなかなか参加者が増えません。幸い集会所があるので助かっています。

**【参加者】**

当地域もお祭りなど行事が多い地域ですが、中止が続く皆が中止に慣れてしまいました。自治会として積極的に開催していきたいですが、第3波により難しくなりました。人数を制限した活動を続けるしかないかなと考えています。

**【参加者】**

公民館まつりについて、意見を聞くと発表の場がないからやりたいとの意見も多いです。なんとか工夫して開催したいと思っています。

**【参加者】**

先ほども話が出ましたが、やはり市内統一の開催基準が必要だと思えます。

**【市長】**

イベント開催に当たってのガイドライン等については、新型コロナウイルス感染症対策の平塚市対処方針に沿って、個々のイベントの内容等を踏まえて、お示しできるようにしたいと思います。

**担当課補足**

公民館まつりについては、既に「令和2年度公民館まつりにおける開催方針及びガイドライン」を策定し、各地域にお知らせしています。

**【司会】**

2年連続の中止となると引継ぎができない。ノウハウを持った人がいなくなってしまうなど課題があると思いますが、何か対策をとられていますか。

**【参加者】**

当地域ではノウハウを引き継ぐために顧問を置くことを検討しています。

**【参加者】**

そもそも引継ぎ相手となる役員のなり手がいない状況です。役員のなり手を探すのに行事は大事な機会でした。その行事が開催できないので難しい問題です。また65歳、70歳でも働き続ける人も多くなっていることも役員のなり手不足の一因と考えています。

**【参加者】**

当地域は農家地域と新興住宅地域に分けられます。農家地域は昔からのつながりがあるので何とか役員を見つけられますが、新興住宅地域の若い世代とはつながりもないので、役員探しではとても苦勞します。

**【参加者】**

若い世代、転入者の参加促進は課題です。自治会役員も以前より転入してきた人も多くなってきましたが、地元出身の人間が多いのが現状です。新しい人が参加しやすい取り組みも大切だと感じています。

**【参加者】**

当地域は外国人が多く、ボランティアに対する認識も違うので役員のなり手不足は深刻です。

**【市長】**

自治会の役員のなり手不足は引き続き大きな課題であると考えています。役員は大変だ、負担だとの御意見をいただきますが、ボランティア活動など

で生きがいをもって生活した方が長生きするとの調査結果もあります。自分が住む地域のためにやってみようと思ってもらえるような仕掛けを行政としてできないかと思っています。一朝一夕にできることではないので、平塚に根付く取組としてじっくり進めていく必要があると考えています。

防災関係ですが、第2ブロックは昨年の台風19号で大きな被害を受けた地域であります。今回コロナ緊急対策、総合対策で、避難所での感染防止のための様々な対策用品を配備しました。ぜひ防災訓練などの機会に実際に触れていただいて、災害に備えていただければと思います。

ごみ問題について、不法投棄への対策として新幹線ガード下付近に防犯カメラを設置していただいたと思います。これからツインシティの進捗状況により車の動きも変わっていくと思います。区画整理組合と連携しながら対策をとるよう担当部にしっかり指示したいと思います。戸別収集については、モデル地区での実験結果を検証して、順次拡大していく方向で進めています。

農業については、後継者問題など私も実感しています。平塚は農業が盛んな地域ですので、ライスセンターの新設を進めています。またコロナ対策の中でスマート農業への補助制度創設や、若者と農業をつなぐ取組などデジタル化と同様に先を見据えた対策を行っています。

## 7 市長によるまとめ

本日はありがとうございました。当初は新型コロナウイルスについて分からないことが多く、市民の命を守るため経済活動、地域活動を制限せざるを得ない状況でした。徐々にウイルスの特性が解明され、安全対策が確立されるにつれ、ウィズコロナ時代として経済活動、地域活動を動かしながら、次の世代に平塚を引き継いでいく必要があると感じています。市としては安全対策への予算措置など皆さんの地域活動をしっかり支援していきたいと思っています。連合会長の皆さんがコロナ禍においても前向きに地域活動を支えてくださっている状況をお聞きして、その活動に改めて感謝申し上げます。ワクチンの開発など明るい兆しも見えてきたように感じます。もう少しの辛抱だと期待しているところですが、次の世代につなぐために引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。

以 上